

USB ダンパーの導入(18) ー電源供給ユニットへの適用(3)ー

1. 始めに

前報(17)に引き続き、機器の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口への適用を行ってみます。

2. USB ダンパーの試験計画

今回は、メインシステムのアナログプレイヤーLINN LP-12の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口をUSB ダンパーの適用対象とします。

このLINN LP-12の電源供給ユニットはもともと内蔵であったものを外付けにしたもので、その経過は[LINN LP-12の再構成\(22\)](#)で報告しています。このものは、電源本体Hercules2（ハーキュリーズ2）とそれを収納するMose（モース）です。



このMose（モース）への専用電源ケーブル差し込み口にUSB ダンパーを適用します。



再生ルートは次のとおりです。

LINN LP-12→ZANDEN Model 120→TruPhase

なお、TruPhase とアンプの Rogers Cadet III には VRA-7 を適用しています。また、ZANDEN Model 120 の電源供給ユニットの電源ケーブル差し込み口および Rogers Cadet III の電源を採っているタップの電源ケーブル差し込み口には USB ダンパーを適用済です。

今回は、LP-12 で聴きなれた曲のアナログ盤を選定しました。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. USB ダンパーの試聴結果

すでに TruPhase とアンプの Rogers Cadet III には VRA-7 を適用している関係から、ヴォリュームアキュライザーの活用(19) で報告していますように、音楽的表現力は十分なレベルに達しています。その上、信号系の機器でもなく、直接の機器への適用でもない、アナログプレイヤーの駆動系の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口への USB ダンパーの適用など、果たして効果があるのか？というところがポイントです。

このような間接的な箇所への USB ダンパーの適用の結果、Bach の Sonatas & Partitas は、わずかに切れ込みやよくなったかのような感じもありますが、もともとのレベルが高いのでさらに顕著な効果を認めたというわけにはいきません。

選帝侯のソナタは、高域はきらきらと輝き、低域の響きが豊かですが、もともとのレベルが高いのでさらに顕著な効果を認めたというわけにはいきません。

ワルキューレは、オーケストラの分離も良く、迫力満点ですが、もともとのレベルが高いのでさらに顕著な効果を認めたというわけにはいきません。

メサイアは、やや合唱の迫力が増し、シュワルツコップの声も伸びやかな印象もありますが、信号系の機器のような顕著な効果ではありません。

4. まとめ

LINN LP-12 の駆動系の電源供給ユニットへの電源ケーブル差し込み口への USB ダンパーの適用は、やや音が変わったかなという程度です。

以上